

株主・投資家の皆様へ

2023年5月23日
KDDI株式会社
代表取締役社長 CEO 高橋 誠

第39期定時株主総会 第3号議案に関する補足説明

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日付でICJプラットフォーム及び当社ホームページにて公開しました『第39期定時株主総会招集ご通知』に記載の第3号議案（取締役12名選任の件）について補足説明させていただきます。

まず、当社株式を10%以上保有している京セラ株式会社、トヨタ自動車株式会社の出身者である山口悟郎及び山本圭司の両氏を重任で取締役候補者としております。

当社は、2000年の発足時にNTTの対抗軸を作るべく両社と大同団結した経緯があります。また、2（1）に記載のとおり、両社は当社の企業理念や事業運営の範であるのみならず、注力分野であるIoT事業における重要なパートナーでもあります。このように戦略的なパートナーシップの関係にある両社の出身であり、経営者としての豊富で多彩な経験等を有する山口氏、山本氏を、当社の成長戦略推進にあたり必要な人材と考え、取締役候補としております。

また、本定時株主総会において第3号議案が承認可決された場合、当社取締役会は社内取締役6名、社外取締役6名の計12名で構成されることとなります。この社外取締役のうち4名（後藤滋樹、淡輪敏、大川順子及び奥宮京子の各氏）が独立社外取締役となることで、コーポレートガバナンス・コードにおいて東証プライム市場の上場会社に求められている「取締役会における独立社外取締役の比率を3分の1以上とすること」を充足し、取締役会としての独立性をより一層強化しております。

加えて、当社は監査・監督機能を業務執行から分離・独立させ、取締役会を外からチェックするべく監査役会設置会社を選択しており、監査役の過半数を独立社外監査役で構成しております。

取締役会には監査役5名（うち独立社外役員3名）が参加しており、取締役・監査役合わせて17名中、9名が社外役員、うち7名が独立役員となるため、議論の多様性と公平性がより高まることとなります（監査役5名と社外取締役6名（うち独立4名）の計11名が、監視・チェックする役員として取締役会の議論に参加します）。

さらに、当社の指名諮問委員会及び報酬諮問委員会についても、構成委員6名のうち独立社外取締役が4名となり、過半数を占めることとなります。加えて各委員会の議長についても独立社外取締役が就任しております。

以上のとおり、当社の成長戦略推進に有用な取締役を主要株主から受け入れる一方、取締役会の独立性を確保したうえで、独立役員が過半数を占める監査役会・諮問委員会が外から業務執行をチェックすることで、成長戦略の推進と経営判断の公平性を両立しております。

株主・投資家の皆様におかれましては、次頁以降の別紙もご一読のうえ、第3号議案に対する賛否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

敬具

【別紙】

第39期定時株主総会 第3号議案に関する補足説明

1. 取締役会の審議、議決をフェアなものとするために

(1) 主要株主との利益相反を適切にコントロール

両取締役候補者の出身会社との利害関係が生じる案件については、特別利害関係人として議決に不参加としており、取締役会決議の公平性維持に万全を期しております。

3(2)に記載のとおり、取引関係のチェックも実施しています。

(2) 当社の経営陣に対する忌憚のない提言

両取締役候補者は、その親族等が当社連結子会社の有力な職位についておらず、当社との関係において個人的に特別な利害関係を有しておりません。従って、当社の代表取締役社長らとの関係において公平・独立な立場を有し、自由な立場で議論に参加し、率直なご意見をいただけると考えております。

2. 両取締役候補者の当社経営への貢献

両取締役候補者の経歴と識見、当社の持続的成長に貢献いただけると考える理由についてご説明いたします。

(1) 京セラ株式会社、トヨタ自動車株式会社とのバックグラウンドやIoT連携等のシナジー

前述のとおり、京セラ株式会社、トヨタ自動車株式会社とは、NTTの対抗軸を作るべく大同団結した経緯があります。また、当社の企業理念は京セラ株式会社のフィロソフィに示唆を受けており、当社の事業運営においては、トヨタ自動車株式会社の人間性尊重や現地現物の思想を範としているところです。

加えて、両社は注力分野であるIoT事業における重要なパートナーでもあり、京セラ株式会社とは「LPWA (Low Power Wide Area)」対応機器や再生可能エネルギー発電事業等、トヨタ自動車株式会社とは街、家、人、クルマの全てがつながる未来社会の到来に向け、それぞれの中核事業である「移動」と「通信」の枠を超えて新しい取り組みを加速しております。

それぞれの会社で経営や執行の経験を積んだ山口氏、山本氏は、このようなバックグラウンドやIoT事業での連携等を十分ご理解いただいております。当社の取締役会の議論等において、経営監督レベルにとどまらず、経営理念、事業運営方針レベルでも、適切なアドバイスをいただいております。

(2) 山口取締役候補の選任理由等

山口氏は、大手電子部品・電子機器関連メーカーである京セラ株式会社の経営者として培われた豊富な企業経営経験及び優れた識見を有しております。また、技術的な知識のバックグラウンドに加え営業経験も豊富なことから、複眼的な分析、判断力を有しております。

同社は、当社携帯電話端末の他、生活に関連の深い各種機器を扱っていることに加え、以前よりグローバル化を進めていることから、山口氏には、5G通信を核とした「サテライトグロース戦略」やグローバル事業の積極展開を目指す当社取締役会において、有益なご意見をいただいております。加えて、注力分野であるIoTをはじめとした事業についても示唆をいただいております。

なお、昨年度の当社取締役会では、11回開催中11回出席いただいております。

(3) 山本取締役候補の選任理由等

山本氏は、大手自動車メーカーであるトヨタ自動車株式会社の役員として培われた豊富な企業経験を有しております。同社は生活に関連の深い自動車を扱っており、さらに日本を代表するグローバル企業でもあることから、山本氏には、山口氏と同様、5G通信を核とした「サテライトグロース戦略」やグローバル事業の積極展

開について有益なご意見をいただいております。

また、山本氏は、トヨタ自動車株式会社における IT 開発や電子技術部門に関する優れた識見を有しており、今後の競争環境を見据えた生産性向上や技術戦略等についても有益なご意見をいただいております。

なお、昨年度の当社取締役会では、11 回開催中 11 回出席いただいております。

3. 持続的な成長を目指すべく手続等を整備

1. で述べましたとおり、両取締役候補者は、それぞれの出身である主要株主との利益相反がある場合には取締役会の決議に参加せず、また、当社経営陣に対して公平・独立な立場に立ちます。

一般の株主総会招集ご通知の「コーポレートガバナンス・コードの原則に係る参考情報」に記載されている内容によって、取締役会での議論がフェアで適切なものとなるよう担保しております。

当該参考情報のポイントは次のとおりです。

- (1) 指名諮問委員会の審議を経て選任したフェアでバランスのよい取締役会の構成（独立社外取締役 4 名を含む）
- (2) 報酬諮問委員会や関連当事者間の取引チェック等、公平公正を確保するシステム
- (3) 取締役の支援サポート体制の充実や、取締役会の実効性評価を通じた PDCA の実施により、持続的な成長に向けた議論を深化、活性化

4. 結び

当社は、戦略的なパートナーシップの関係にある京セラ株式会社、トヨタ自動車株式会社から、多様で優れた識見・経験を有する社外取締役を取締役に取り入れる一方、取締役会の独立性を確保するとともに、取締役会とは分離した監査役会が外から業務執行をチェックし、なおも、その他の手続等を整備してフェアでバランスの取れた議論を担保することで、企業価値の向上に取り組んでおります。そして、中長期的な成長を実現し、株主の皆様にご配当の維持・向上等でお応えしていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、当該議案・候補者選任の趣旨、目的をご理解いただいたうえで、議決権の行使をお願い申し上げます。

以 上